

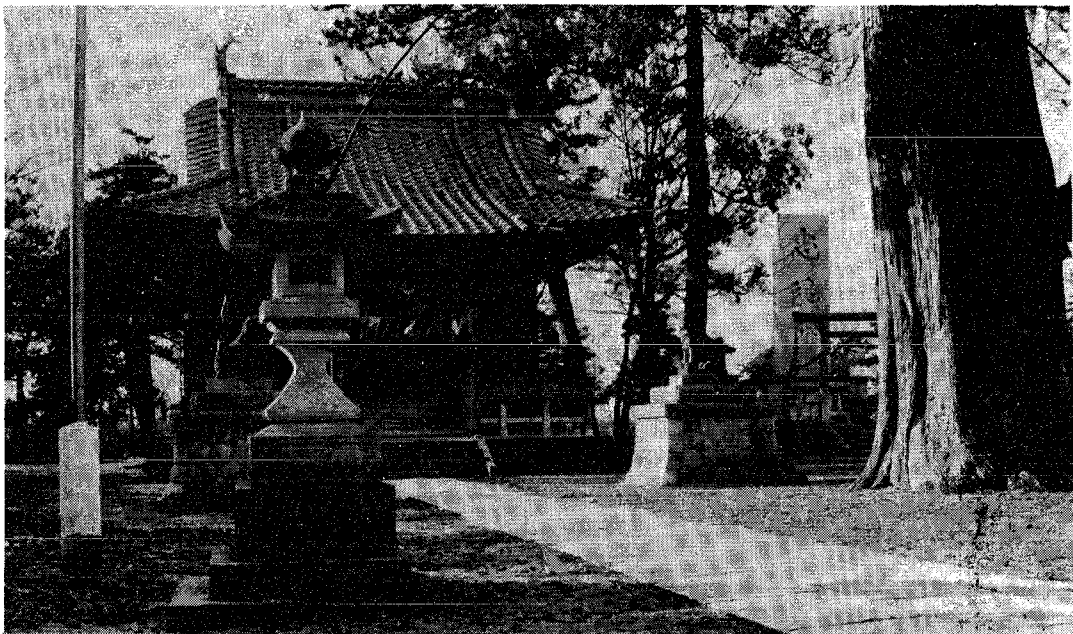
広報 つきがた

第 26 号

昭和47年 1 月

発行
月 潟 村 役 場

人口動態	12月31日現在	12月中の異動
	世帯数 785 (男 1,875 女 2,010)	人口総数 3,885 出生 4 転入 11 死亡 1 転出 4



謹賀新年

月潟村長水間國之輔



村民の皆様明けましておめでとうございます。健康で幸福な新年を迎えられたことと心から慶賀の至りと存じます。一年なんて早いもので、アツという間に過ぎ去ってしまいました。過ぎ去った昨年を振り返って見ますと、激動の年といわれた通り世界的にも国内的にもいろいろ変化がありました。国連が中国を承認して、台湾政府が国連から追放されたことも、ドルショックによって日本産業が風邪を引くことも、沖縄国会が大きくゆれ動いたことも昨年の特色の一つでしょう。村内から申しますと乏しい財政の中で老人憩の家月寿荘が完成出来たことは、村民の皆様が蔭に陽にの御援助の賜であると深く敬意を表する次第です。上越新幹線が月潟地内を通過すると言うことも村民の一人として驚かされた一つです。

なる訳ですが、私がしばしば申し上げてきたように、弱小町村の悲劇として財源的に乏しいと言うことが、しかもその財源の大部分が消費的経費に振り向けなければならぬ立場ですので、村民のサービスに向ける経費は二十%から二十五%前後になるので、思うにまかせない状況であります。でも、村民の幸福になるための村政を推進したいと考えて居ります。そこで今年も産業基盤を育成する立場から、道路を中心とした事業を進めます。農業については、近く設立される土改とも協調しながら、農業に生きようとする若者達のために魅力ある農業の基礎作りを手を着けたいと考えて居ります。商工業関係については、出来るだけ村内消費の確立を期したいと考えて居ります。その他、老人福祉や教育施設の充実を図るようになっています。何れに致しましても今年はずいぶん健康で豊かで、明るい良い年になります様に心から祈ります。以上簡単に意見を述べまして迎春の言葉といたします。